

特集

長寿いきいき安心プラン いつまでも自分らしく



▲フレイル予防
応援隊養成講
座の様子

「年を重ねていきつつ、住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けたい」多くの人が願うそんな思いを実現できるまちにするため、市は、長寿いきいき安心プラン（菊川市第8期介護保険事業計画・第9次高齢者保健福祉計画）を策定しました。

問い合わせ 長寿介護課高齢者福祉係（プラザけやき内 ☎37-1254）

現状の問題

国が発表している高齢化率^{※1}は、28.7%と過去最高となりました。日本の高齢化は、諸外国に例をみないスピードで進んでいます。

こうした状況から、国は、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療、介護、介護予防、住まいおよび自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制（地域包括ケアシステム）を構築するように示してきました。

本市でも、団塊の世代^{※2}が75歳以上になる令和7年度、さらに団塊ジュニア世代^{※3}が65歳以上になる令和22年度を見据え、市の地域包括ケアシステムを一層推進することとし、長寿いきいき安心プラン（菊川市第8期介護保険事業計画・第9次高齢者保健福祉計画）を策定しました。

どんな計画？

介護保険事業計画とは、市の介護保険事業運営に係る円滑な実施などに関する基本的な計画、高齢者保健福祉計画とは、市の高齢者保健福祉施策に関する基本的な計画です。

・基本理念

健康で元気に暮らせるまち
くきらきら生きる

菊川市に住むすべての人たち

目標1 安心して暮らすことができる基盤の整備

総合的に高齢者の暮らしを支える地域のネットワークづくりを推進し、地域包括ケアシステムの深化・推進を目指します。

目標2 生きがいつくりと介護予防の促進

高齢者のニーズに合った健康増進事業などを整備し、地域の自主的活動を支援するとともに、高齢者の就労支援や地域活動等への参加を促します。

目標3 高齢者を支えるサービスの充実

高齢者の生活を支援する各種介護保険サービスの充実と、介護予防・生活支援サービス事業の新たなサービスの導入について検討します。

が、切れ目のない医療や介護を受けられる環境を整えるとともに、障がいや病気などの有無によって分け隔てられることなく、尊重し合いながら共生するまちの実現を目指します。

計画期間は、令和3年度を初年度とし、令和5年度を目標年度とする3カ年。

次ページから3つの重点施策別に計画の概要を紹介します。

※1 65歳以上の人の割合（令和2年9月15日現在） ※2 1947年～1949年に生まれた世代 ※3 1971年～1974年に生まれた世代